

分科会活動報告

2023年度環境アレルギー分科会活動報告

平 久 美 子

1) 東京女子医科大学附属足立医療センター

【概要】

2023年4月から2024年3月までに、当分科会の会合は計7回開催された。昨年度と同様、ZOOMを用いたWEB形式で行った。毎回、分科会会員による各専門分野の情報提供と活発な質疑応答がなされた。2023年6月の第31回日本臨床環境医学会学術集会では、前年度の活動報告とともに、同5月に出版した単行本「住まいのアレルギー対策—室内環境からのアプローチ」(技報堂出版)の内容紹介を行なった。この教科書の紹介を主な目的として、同10月に、公開オンラインシンポジウム「住まいのアレルギー対策—室内環境からのアプローチ」(主催:住まいと環境東北フォーラム 共催:日本臨床環境医学会環境アレルギー分科会)が開催された。今後、一般向けダイジェスト版を学会ホームページに「提言」として公表することをめざして準備を開始した。

【分科会メンバー】

医学分野 (12名): 谷口正実(湘南鎌倉総合病院臨床研究センター)、渡井健太郎(湘南鎌倉総合病院免疫アレルギーセンター)、角田和彦(かくたこども&アレルギークリニック)、阪口雅弘(東京環境アレルギー研究所)、白井秀治(環境アレルギーinfo and care株式会社)、高岡正敏((株)ペスト マネジメント ラボ)、東賢一(近畿大学)、高野裕久(京都大学)、釣木澤尚実(国立病院機構横浜医療センター呼吸器内科)、高鳥浩介(NPOカビ相談センター)、竹熊美貴子(埼玉県衛生研究所、新規入会)、平久美子(東京女子医科大学附属足立医療センター麻酔科、代表)、物理・化

学分野 (4名): 関根嘉香(東海大)、高橋久美子・成田泰章(暮らしの科学研究所)、篠原直秀(産業技術総合研究所)、建築分野 (13名): 吉野博(東北大学)、池田耕一(日本大学)、野崎淳夫(東北文化学園大学大学院、副代表)、一條祐介・二科妃里(東北文化学園大学大学院)、鍵直樹(東京工業大学)、柳宇(工学院大学)、長谷川兼一(秋田県立大学)、三田村輝章(前橋工科大学)、金勲(国立保健医療科学院)、林基哉(北海道大学)、長谷川麻子(宮城学院女子大学)、山野裕美(東京環境アレルギー研究所、幹事)

【2023年度の検討内容】

各内容と講師名(敬称略)は以下の通り。化学物質過敏症の病態—臨床現場からの報告(平久美子)、COVID-19流行時のオフィス室内空気中エタノール及びアセトアルデヒド濃度の実態調査(金勲)、化学物質による室内空気汚染事例2000~2019(竹熊美貴子)、環境中の粒子状物質の影響—JST CREST研究の経過紹介(高野裕久)、公開シンポジウム:住まいのアレルギー対策—室内環境からのアプローチ 企画案について(吉野博); 予演会(平久美子、金勲、山野裕美、高鳥浩介、高岡正敏、林基哉、三田村輝章); オンライン発表: 開催報告(吉野博)、シックハウス、化学物質関連の最新情報(東賢一)、化学物質過敏症の臨床経過(平久美子)

【今後の活動計画】

①教科書「住まいのアレルギー対策—室内環境からのアプローチ」の一般向けのダイジェスト版

を、当分科会の「提言」として作成し、学会ホームページに掲載する。②第31回日本臨床環境医学会学術集会において当分科会主催のシンポジウム「環境中微粒子の健康影響—CREST研究に学ぶ」を開催する。③引き続き対面またはオンラインによる勉強会を1-2ヶ月に1回開催する。

【会計報告】

<収入の部>

前年度からの繰越金33,835円

日本臨床環境医学会様より50,000円

<支出の部>

残金83,835円は2024年度への繰越金とし、来年度日本臨床環境医学会学術集会における当分科会主催のシンポジウム「環境中の粒子状物質の影響-JST CREST研究」の講師招聘のための資金の一部に充てる予定である。

【2024年学術集成分科会シンポジウム計画】

名称：環境中微粒子の健康影響

—CREST研究に学ぶ

日時：2024年6月9日午後

目的：CREST研究「環境中微粒子の体内、細胞内動態、生体・免疫応答機序の解明と外因的、内因的健康影響決定要因、分子の同定」に参加の研究者から、環境中の微粒子の最新の知見について伺う。

内容：プログラムは以下のとおり（演題名、演者）

- 1.「環境中微粒子の体内、細胞内動態、生体・免疫応答機序の解明と外因的、内因的健康影響決定要因、分子の同定」高野裕久 京都大学名誉教授
- 2.「環境化学と毒性学の共同研究を加速させる新規なエアロゾル粒子採取技術—サイクロンと水溶性フィルター—」奥田 知明 慶應義塾大学理工学部教授
- 3.「新規3次元解析法を用いた環境中微粒子曝露モデルマウス肺の検討」三上 剛和 新潟大学医学部顕微解剖学分野准教授
- 4.「環境中微粒子成分の肺内局在と生体・免疫応答の同視野観察法の構築」石川良賀 京都大

学大学院地球環境学堂特定助教

- 5.「粒子の物理化学的特性とアジュバント効果」
黒田悦史 兵庫医科大学医学部免疫学講座教授

- 6.「マイクロプラスチック経口曝露と腸内環境・代謝障害」濱口真英 京都府立医科大学内分
泌・代謝内科学講師

資金計画：

<予算>

環境アレルギー分科会活動費繰越金 83,835円

環境アレルギー分科会2024年度活動費 50,000円

寄付

<経費>

講師謝礼 15000円× 4名=60,000円

講師交通費（シンポジウム当日精算予定）

概算 110,000円